

# ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

平成 27 年 11 月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

## 1 建設業界のトピックス

### ■住宅がフローからストックの時代に入り、安定した成長が期待されるマンション管理業

今回は、建設業と関連の深い業種であるマンション管理業についてご紹介する。

図表 1 にあるように、マンションの新規供給戸数は 2007 年の 22 万 7 千戸から、2011 年には 8 万 2 千戸にまで減少した。その後、景気回復を背景に増加に転じたが、中長期的には人口減少社会を迎える中で大きく伸びることはないと思われる。

一方、マンションのストック戸数は年々増加し、2013 年には 601 万戸に達しており、今後はマンション市場においてもフローからストックの時代に移ることになりそうである。

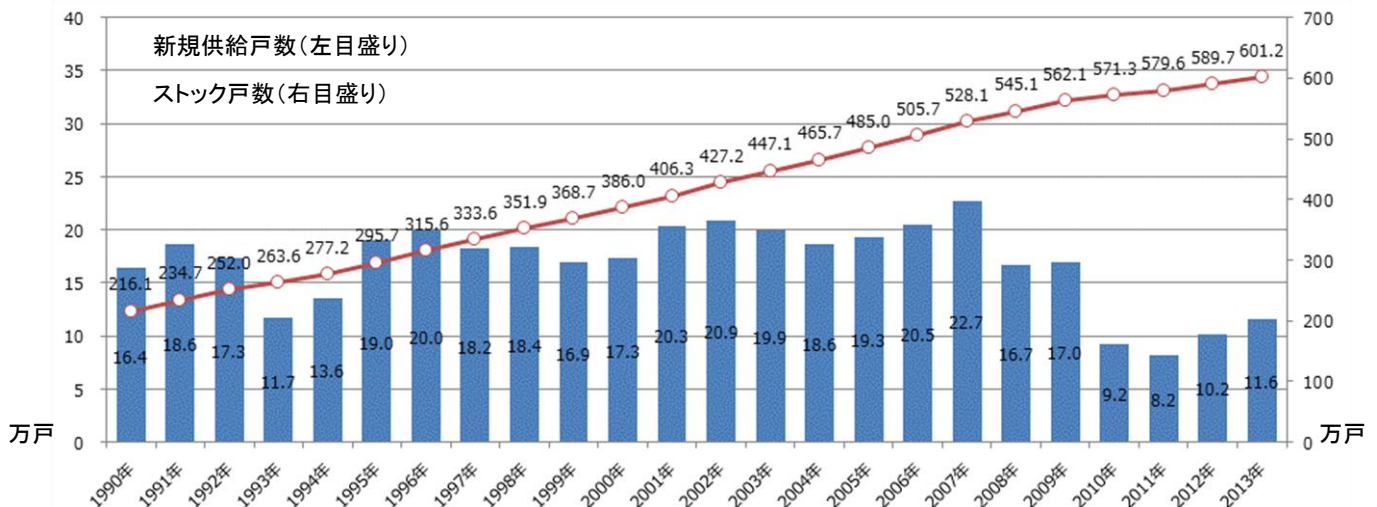
また、分譲マンションの築後年数について見ると、2013 年において築 20 年超の分譲マンションは、263 万 6 千戸で全体の約 43%を占めており、マンションの老朽化に伴う大規模修繕や建て替え等が今後大きな問題になってきそうである。

このような市場環境を背景に安定した成長が見込まれそうなのが「マンション管理業」である。マンション管理業とは管理組合から委託を受けて「マンションの管理事務」を行う事業であり、安全で快適なマンション・ライフを送り、さらに、マンションの資産価値を維持するための重要なサービスとして関心が高まりそうである。

### ■堅実な需要が見込まれるマンションの管理業務主任者

マンション管理業における重要な国家資格として「管理業務主任者」がある。これは、管理組合との管理受託契約の重要事項の説明から、受託した管理業務の処理状況のチェック等及びその報告までマンション管理のマネジメント業務を担うために設けられた国家資格であり、マンション管理業を営む際に設置が義務付けられている。マンション管理へのニーズが高度化・複雑化する中で、このような専門家の重要性が更に高まりそうである。

【図表 1 マンションのストック数と新規供給戸数の推移】



出所: 国土交通省資料 (<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/torikumi/tenpu/H25stock.pdf>) より作成

■このレポートに関する問合せ■ 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル 1 階

ヒューマンタッチ株式会社 ヒューマンタッチ総研担当 TEL:03-6846-9050 Mail:ht@athuman.com

## 2 建設業界の最新雇用関連データ(2015 年 10 月 30 日公表)

### (1)建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は 505 万人(前年同月比 100.0%)、雇用者数は 410 万人(同 100.0%)といずれも前年通り

#### <建設業の就業者数と雇用者数の推移>

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
就業者数(万人)	505	524	516	503	489	479	498	510	505	510	498	491	505
前年同月比	100.0%	102.7%	101.4%	102.2%	99.6%	96.2%	97.8%	100.0%	98.8%	101.8%	101.4%	97.0%	100.0%
雇用者数(万人)	410	425	423	413	400	387	404	412	412	421	405	404	410
前年同月比	100.0%	101.9%	102.2%	103.3%	100.3%	96.0%	97.1%	100.0%	99.3%	103.7%	102.5%	99.0%	100.0%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆建設業の新規求人数は 61,820 人(前年同月比 96.9%)となり、やや減少

#### <建設業の新規求人数の推移(新規学卒者とパートを除く)>

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規求人数(人)	63,786	66,823	53,199	50,507	64,720	59,353	56,917	62,930	54,566	58,743	64,799	55,170	61,820
前年同月比	99.7%	96.3%	87.7%	98.2%	96.1%	98.0%	95.7%	94.5%	90.4%	97.6%	99.4%	97.1%	96.9%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (2)建設技術職の雇用動向

◆建築・土木・測量技術者の有効求人倍率は 4.22 倍(前年同月比+0.23 ポイント)と 4 カ月連続で上昇

◆充足率は前年同月比 1.2 ポイントの低下で 6.5%となり、企業にとって人材確保が困難な状況が続いている

#### <建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規求人数(人)	17,443	18,790	14,925	14,771	17,987	16,288	16,016	17,262	15,233	17,276	17,892	15,747	16,563
有効求人人数(人)	51,094	51,215	49,828	47,151	46,912	48,185	49,461	48,638	47,527	48,925	49,258	49,313	49,268
新規求職者数(人)	2,914	3,049	2,307	2,259	3,153	2,788	3,279	4,679	3,063	3,027	2,960	2,591	2,600
有効求職者数(人)	12,802	12,615	11,618	10,934	11,221	11,389	12,187	13,640	13,356	13,022	12,391	11,873	11,662
有効求人倍率	3.99	4.06	4.29	4.31	4.18	4.23	4.06	3.57	3.56	3.76	3.98	4.15	4.22
就職件数(人)	1,353	1,356	1,078	989	954	1,002	1,274	1,345	1,252	1,222	1,216	1,002	1,081
充足率	7.8%	7.2%	7.2%	6.7%	5.3%	6.2%	8.0%	7.8%	8.2%	7.1%	6.8%	6.4%	6.5%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

#### <建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規求人数	92.9%	93.2%	82.4%	95.5%	92.8%	91.8%	97.7%	87.2%	89.1%	102.4%	95.2%	98.1%	95.0%
有効求人人数	93.1%	91.5%	90.2%	90.4%	90.4%	93.3%	94.9%	91.9%	91.4%	93.3%	95.3%	98.3%	96.4%
新規求職者数	92.1%	92.2%	86.3%	90.3%	93.9%	96.1%	97.3%	93.4%	86.4%	95.3%	89.6%	90.7%	89.2%
有効求職者数	88.0%	89.2%	89.8%	90.4%	91.4%	93.2%	95.3%	94.5%	92.2%	92.7%	91.6%	91.8%	91.1%
有効求人倍率	0.22	0.10	0.02	0.00	-0.05	0.00	-0.01	-0.10	-0.03	0.03	0.16	0.27	0.23
就職件数	93.4%	91.1%	85.7%	87.9%	86.5%	82.5%	93.5%	91.6%	84.4%	83.9%	85.8%	88.3%	79.9%
充足率	0.0%	-0.2%	0.3%	-0.6%	-0.4%	-0.7%	-0.4%	0.4%	-0.5%	-1.6%	-0.7%	-0.7%	-1.2%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (3)建設技能工の雇用動向

◆建設・採掘の職業の有効求人倍率は 3.22 倍(前年同月比+0.19 ポイント)と 5 カ月連続で上昇

◆充足率は前年同月比 2.2 ポイントの低下で 11.8%となり、企業にとって人材確保が困難な状況が続いている

#### <建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規求人数(人)	33,637	35,273	27,954	25,863	33,736	30,777	30,660	32,199	28,617	31,243	33,205	28,859	32,102
有効求人人数(人)	94,150	95,870	92,513	85,981	85,612	88,382	92,384	90,926	88,243	89,147	90,034	89,912	91,659
新規求職者数(人)	8,313	7,936	6,377	6,115	8,763	8,054	9,257	10,517	7,873	8,259	7,696	7,010	6,994
有効求職者数(人)	31,077	30,459	28,305	26,497	27,888	29,073	31,690	33,651	32,479	31,860	30,515	29,324	28,503
有効求人倍率	3.03	3.15	3.27	3.24	3.07	3.04	2.92	2.70	2.72	2.80	2.95	3.07	3.22
就職件数	4,706	4,857	3,952	3,310	3,384	3,586	4,360	4,545	4,257	4,584	4,233	3,554	3,791
充足率	14.0%	13.8%	14.1%	12.8%	10.0%	11.7%	14.2%	14.1%	14.9%	14.7%	12.7%	12.3%	11.8%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

#### <建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規求人数	101.5%	97.8%	89.3%	96.5%	94.8%	96.7%	98.6%	92.9%	90.8%	98.5%	97.6%	97.1%	95.4%
有効求人人数	101.5%	99.4%	96.0%	95.4%	94.2%	95.9%	96.8%	95.6%	94.1%	95.0%	96.1%	97.9%	97.4%
新規求職者数	98.3%	92.0%	89.8%	97.0%	95.1%	103.3%	100.0%	94.1%	89.4%	97.1%	92.4%	95.8%	84.1%
有効求職者数	90.7%	91.3%	91.0%	92.2%	93.6%	96.1%	97.1%	96.0%	93.4%	94.2%	93.2%	94.2%	91.7%
有効求人倍率	0.32	0.26	0.17	0.10	0.02	-0.01	-0.01	-0.01	0.02	0.02	0.09	0.12	0.19
就職件数	93.2%	86.9%	81.8%	84.8%	87.2%	88.2%	96.7%	84.5%	82.7%	90.0%	84.7%	86.3%	80.6%
充足率	-1.3%	-1.7%	-1.3%	-1.8%	-0.9%	-1.1%	-0.3%	-1.4%	-1.5%	-1.4%	-1.9%	-1.5%	-2.2%

### 3 2015 年 9 月の雇用関連データのまとめ(2015 年 10 月 30 日公表)

◆労働力人口、就業者数、雇用者数ともに前月以上に増加しており、企業の人材需要は活発

労働力人口は 6,665 万人(前年同月比 30 万人増)、就業者数は 6,439 万人(同 37 万人増)、雇用者数は 5,687 万人(同 51 万人増)といずれも前月以上に増加しており、企業の人材需要は活発な状況が続いていると考えられる。

◆完全失業率は前月と同率で 3.4%となり、雇用環境は良好な状態が続いていると考えられる

完全失業者数は 227 万人(前年同月比 6 万人の減少)で 64 カ月連続の減少、完全失業率(季節調整値)は 3.40%で前月と同率となり、雇用環境は良好な状況が続いていると考えられる。

時系列に前年同月を見ると、完全失業者数は 2012 年 9 月の 275 万人から 2015 年 9 月には 227 万人にまで減少、完全失業率も同じく 4.2%から 3.4%へと低下しており、中長期的にも雇用環境は改善傾向が続いていると言える。

また、労働力人口は 2012 年 9 月の 6,583 万人から年々上昇し 2015 年 9 月には 6,665 万人となり、就業率も 2012 年 9 月の 56.8%から 2015 年 9 月には 58.1%へと上昇しており、労働参加が順調に拡大していることがわかる。

【主要雇用環境指標の推移】

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
労働力人口(万人)	6,635	6,623	6,590	6,567	6,540	6,548	6,547	6,576	6,624	6,648	6,603	6,603	6,665
対前年同月増減(万人)	18	-6	-30	23	39	32	3	-16	-16	14	-1	8	30
就業者数(万人)	6,402	6,390	6,371	6,357	6,309	6,322	6,319	6,342	6,400	6,425	6,381	6,379	6,439
対前年同月増減(万人)	43	24	0	38	47	39	21	4	2	36	24	16	37
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	57.8%	57.6%	57.5%	57.4%	57.0%	57.1%	57.1%	57.3%	57.8%	58.0%	57.6%	57.6%	58.1%
対前年同月増減	0.5%	0.2%	0%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%
雇用者数(万人)	5,636	5,629	5,637	5,645	5,611	5,595	5,580	5,578	5,624	5,665	5,632	5,639	5,687
対前年同月増減(万人)	61	33	18	62	63	51	39	29	32	48	32	39	51
完全失業者数(万人)	233	233	219	210	231	226	228	234	224	224	222	225	227
対前年同月増減(万人)	-25	-30	-30	-15	-7	-6	-18	-20	-18	-21	-26	-6	-6
完全失業率	3.60%	3.50%	3.50%	3.40%	3.60%	3.50%	3.40%	3.30%	3.30%	3.40%	3.30%	3.40%	3.40%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

【9月の主要雇用環境指標の年次推移】

	2012年 9月	2013年 9月	2014年 9月	2015年 9月
労働力人口(万人)	6,583	6,617	6,635	6,665
対前年同月増減(万人)	-15	34	18	30
就業者数(万人)	6,308	6,359	6,402	6,439
対前年同月増減(万人)	-13	51	43	37
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	56.8%	57.3%	57.8%	58.1%
対前年同月増減	-0.1%	0.5%	0.5%	0.3%
雇用者数(万人)	5,522	5,575	5,636	5,687
対前年同月増減(万人)	3	53	61	51
完全失業者数(万人)	275	258	233	227
対前年同月増減(万人)	-2	-17	-25	-6
完全失業率	4.2%	4.0%	3.6%	3.4%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆産業別の就業者数では医療・福祉が 4 か月連続で大幅に増加、一方、製造業は大幅な減少が続く

産業別に就業者数を見ると、医療・福祉が 786 万人で前年同月比 34 万人増と 4 か月連続で大幅な増加になっている。次いで不動産業・物品賃貸業が 127 万人で同 19 万人増、学術研究/専門・技術サービス業が 223 万人で同 15 万人増となった。一方、製造業は 992 万人で前年同月比 42 万人減と、3 カ月連続で大幅な減少となった。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

	農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	230	505	992	215	328	1,082
	対前年同月増減	-9	0	-42	14	-2	-1
雇用者	実数(万人)	58	410	953	205	314	155
	対前年同月増減	0	0	-36	12	-2	2

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類さ れない)
就業者	実数(万人)	127	223	400	232	312	786	402
	対前年同月増減	19	15	7	-5	6	34	0
雇用者	実数(万人)	115	175	333	174	287	754	357
	対前年同月増減	16	15	5	-9	11	35	1

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆正規社員、非正規社員ともに増加

正規の職員・従業員数は前年同月比 37 万人の増加で 3,348 万人、非正規の職員・従業員数は前年同月比 16 万人の増加で 1,986 万人となり、正規社員、非正規社員ともに増加した。非正規社員の比率は 37.2%で前年同月通り。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
役員を除く雇用者数(万人)	5,298	5,279	5,294	5,308	5,263	5,252	5,245	5,233	5,281	5,315	5,293	5,302	5,335
正規の職員・従業員(万人)	3,327	3,298	3,281	3,291	3,273	3,277	3,271	3,294	3,331	3,345	3,336	3,329	3,348
構成比	62.8%	62.5%	62.0%	62.0%	62.2%	62.4%	62.4%	62.9%	63.1%	62.9%	63.0%	62.8%	62.8%
対前年同月増減(万人)	36	7	-29	18	31	58	38	6	7	21	29	24	37
非正規の職員・従業員(万人)	1,970	1,980	2,012	2,016	1,989	1,974	1,973	1,939	1,949	1,970	1,956	1,972	1,986
構成比	37.2%	37.5%	38.0%	38.0%	37.8%	37.6%	37.6%	37.1%	36.9%	37.1%	37.0%	37.2%	37.2%
対前年同月増減(万人)	30	16	48	49	33	-15	9	30	28	34	17	24	16

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆「25～34 歳の女性」と「55 歳～64 歳の男女」で雇用状況の改善傾向が大きい

「25～34 歳の女性」で完全失業率が前月比 0.5 ポイント低下して 4.0%となり、最も大きな改善となった。次いで、「55 歳～64 歳」では男女ともに完全失業率が前月比 0.4 ポイント低下した。

【年齢階級別・男女別完全失業者・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率	対前月増減
			(季節調整値)	(ポイント)
総数	227	-6	3.4%	0.0
(男)	137	-2	3.6%	0.1
(女)	89	-6	3.1%	-0.1
15歳～24歳	29	0	5.9%	0.3
(男)	17	1	6.4%	0.1
(女)	12	-1	5.3%	0.4
25歳～34歳	50	-4	4.3%	-0.2
(男)	30	-4	4.5%	0.1
(女)	20	-1	4.0%	-0.5
35歳～44歳	51	-3	3.2%	0.1
(男)	31	3	3.5%	0.3
(女)	20	-6	2.8%	-0.2
45歳～54歳	44	-1	3.1%	0.3
(男)	23	-1	2.9%	0.0
(女)	22	1	3.4%	0.7
55歳～64歳	34	0	3.1%	-0.4
(男)	23	-2	3.5%	-0.4
(女)	11	1	2.5%	-0.4
65歳以上	18	2	2.4%	0.5
(男)	13	1	-	-
(女)	5	1	-	-

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆「勤め先や事業の都合による離職」の減少傾向が続く

求職理由別に完全失業者数を見ると、「勤め先や事業の都合による離職」が前年同月比 5 万人の減少で 41 万人となり、減少傾向が続いている。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	46	46	46	44	46	41	44	41	42	40	39	41	41
対前年同月増減(万人)	-11	-18	-12	-7	-9	-8	-5	-6	-1	-6	-9	-3	-5
定年または雇用契約終了による離職(万人)	22	26	24	21	24	24	26	32	25	26	22	26	24
対前年同月増減(万人)	-8	2	0	0	0	-1	-1	-5	-6	-1	-4	0	2
自発的な離職(自己都合)(万人)	96	91	84	85	93	93	85	87	88	85	90	93	94
対前年同月増減(万人)	3	-3	-10	-2	7	3	-5	-3	-2	-10	-4	0	-2

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆有効求人倍率、新規求人倍率、正社員求人倍率のすべてが上昇、人手不足が更に深刻になる

有効求人倍率(季節調整値)は 1.24 倍、新規求人倍率(季節調整値)は 1.86 倍、正社員求人倍率は 0.77 倍と、いずれも前月比で 0.01 ポイント上昇しており、人手不足は更に深刻化していると考えられる。

【有効求人倍率(新規学卒者を除きパートタイムを含む)の推移】

	2013年平均	2014年平均	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
有効求人倍率(倍)	0.93	1.09	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	1.24
新規求人倍率(倍)	1.46	1.66	1.77	1.63	1.72	1.77	1.78	1.78	1.83	1.85	1.86
正社員有効求人倍率(倍)	0.56	0.67	0.70	0.70	0.71	0.72	0.75	0.75	0.75	0.76	0.77

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

◆「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」、「建築・土木・測量技術者」の人材不足が更に深刻化

職業別に有効求人倍率を見ると、専門的・技術的職業の有効求人倍率は 1.79 倍で 5 カ月連続の上昇となり、人材の不足感が更に高まっている。人材不足が続いている「建築・土木・測量技術者」の有効求人倍率は対前月比 0.07 ポイント上昇の 4.22 倍、「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」も対前月比 0.07 ポイント上昇の 7.14 倍となり、各事業者においては人材の確保が引き続き大きな課題になっていると考えられる。

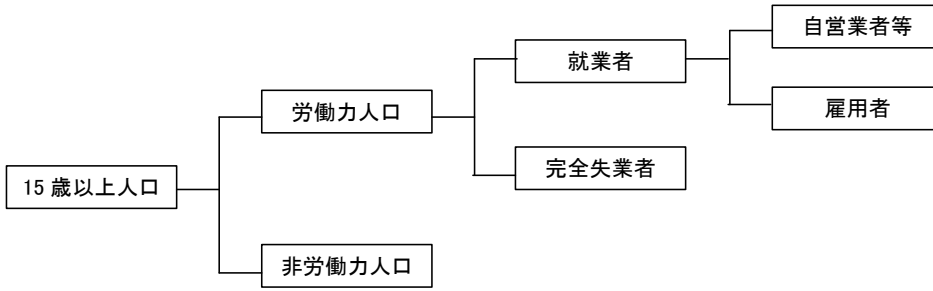
【職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2013年平均	2014年平均	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
職業計	0.74	0.89	1.01	1.00	0.96	0.89	0.88	0.92	0.96	0.99	1.02
専門的・技術的職業	1.43	1.61	1.87	1.83	1.72	1.53	1.53	1.61	1.69	1.74	1.79
開発技術者	1.25	1.62	1.98	1.92	1.81	1.70	1.72	1.80	1.86	1.88	1.92
建築・土木・測量技術者	3.36	3.97	4.18	4.23	4.06	3.57	3.56	3.76	3.98	4.15	4.22
情報処理技術者	1.64	1.95	2.18	2.22	2.20	2.08	2.01	2.11	2.12	2.17	2.17
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	7.73	7.72	8.11	7.94	7.44	6.39	6.54	6.84	7.06	7.07	7.14
保健師、助産師、看護師	2.99	2.90	3.16	3.04	2.85	2.47	2.50	2.60	2.68	2.68	2.70
医療技術者	2.55	2.71	3.08	3.12	2.94	2.57	2.52	2.64	2.80	2.91	2.88
その他の保健医療の職業	1.13	1.25	1.39	1.41	1.39	1.26	1.22	1.27	1.36	1.41	1.45
社会福祉専門の職業	1.40	1.71	2.25	2.11	1.94	1.61	1.65	1.79	1.97	2.10	2.21
美術家、デザイナー、写真家	0.32	0.36	0.38	0.39	0.38	0.35	0.34	0.36	0.37	0.38	0.39
事務的職業	0.22	0.27	0.31	0.32	0.31	0.27	0.26	0.28	0.29	0.30	0.31
販売の職業	0.88	1.06	1.21	1.20	1.16	1.09	1.10	1.16	1.22	1.26	1.29
サービスの職業	1.3	1.6	1.90	1.85	1.78	1.73	1.77	1.84	1.92	1.99	2.03
生産工程の職業	0.66	0.93	1.04	1.04	1.01	0.95	0.93	0.96	0.99	1.03	1.07
輸送・機械運転の職業	1.34	1.58	1.72	1.71	1.65	1.57	1.58	1.61	1.64	1.68	1.72
建設・採掘の職業	2.46	2.96	3.07	3.04	2.92	2.70	2.72	2.8	2.95	3.07	3.22

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



\* 労働力人口

15 歳以上で働く意思と能力を持つ者。

\* 非労働力人口

15 歳以上で働く意思や能力のない者。

\* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

\* 完全失業者

仕事がなくして仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

\* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

\* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15 歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数 (倍)

\*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)